



ほっころ

甲府市立北新小学校
2015. 11. 26
No. 8
発行：校長室

全校の絆深まる北光まつり



11月7日(土)に北光まつりが開かれました。今年は、開会式のあと、前宮島市長さんを招いて、お礼の会を行いました。北新小学校がすべて新しく作り替えられたのも地域の方々の熱意と応援、それに前宮島市長のお力添えがあったからです。図書委員



会の発表、吹奏楽の演奏、全校合唱を通して、明るく元気に一生懸命に学んでいる姿を見ていただき、前宮島市長さんに感謝の気持ちを伝えました。



遊びの部①では、地域の方々による講座が開かれました。今年の講座は、「茶道」「空手」「わりばし鉄砲」「将棋・オセロ」「きなこあめづくり」です。どの子も目を輝かせて



いろいろなことに挑戦していました。遊びの部②では、たてわり班によるお店で遊びました。今年は、「ねらいをさだめストライク」「なぞなぞクイズとけるかな?」「ビックパズル」「北新海ぞく団の秘宝」



「クイズでポン!」「わなげ☆めざせ達人」の6つのお店でした。遊び心をくすぐるお店ばかりで、存分に楽しんでいました。ほかにも、たてわり遊び、ふれあい弁当、児童の作品展、PTAの作品展、PTAバザーもありました。まつりを通して地域の中で子ども達が育っているということを実感しました。講座に関わってくださった方々、PTA役員、保護者の皆様、地域の皆様の御協力に感謝申し上げます。ありがとうございました。



バンドフェスティバルに参加 フラメンコに感動

11月3日(火)に山梨県小学校バンドフェスティバルがコラニー文化ホールで開催さ



れました。素晴らしい演奏、歌声、踊りにたくさんの拍手をもらいました。



11月12日(水)に音楽集会が開かれました。今年は、スペイン舞踏団によるフラメンコです。人々の心を動かすフラメンコのもつエネルギーに圧倒され、時間のたつのも忘れてしまいました。

わくわく実験 千代田小6年生と交流

11月11日(水)に、理科の出前授業があり、5年生が食べ物の発酵、酵素について学習しました。パンの発酵、ヨウ素デンプン反応、デンプン消化、オキシドール反応、にんじんロケットなどのわくわくするよう実験を通しながら、酵素のはたらきについて学んでいました。



11月10日(火)、千代田小の6年生が本校に来て、6年生といっしょに授業を受けたり、遊んだりしました。

- ・話し合いは、みんなの意見が分かり、これが人数が多いとできることかなと思いました。
- ・サイコロトークでみんなといろいろなおもしろい話ができよかったです。人数の多い授業がどんな感じかよく分かりました。
- ・腕ずもうは、弱くてあまりたおせんませんでした。リベンジしたいです。友達が増えてとてもうれしいです。北中にいったらよろしくをお願いします。



普段味わうことのできない貴重な時間を過ごすことができました。また、このような機会を設けたいと思います。

ブックトーク訪問 選手訪問

11月17日(火)の朝学習の時間を使って、4年生が6グループに分かれてブックトーク訪問をしました。1年1組には「いろいろな動物」、1年2組には「やさしい人」、2年生には「いっしょにいと楽しい友達」、3年生には「心を入れかえる人たち」、5年生には「がんばり者の話」、6年生には「きずな」をテーマに本の紹介をしました。これは、「テーマを決めてブックトークしよう」の国語の学習の一環として行われたものです。「いっぱい読んでみたい」「上手に紹介していた」等の感想がありました。学習の成果をしっかりと発揮したブックトークでした。



11月19日(木)にヴァンフォーレ甲府の選手訪問がありました。ゴールキーパーの河田晃兵選手とディフェンダーの津田琢磨選手が来てくださいました。「外から自分を観て、何が足りないかを冷静に分析して、足りないものを補う努力をしながらプロ選手になった」「中学校時代、強いチームだったので試合に出ることができなかった。でも、サッカーが楽しかったので続けた」「課題を克服しながらひたすら練習をした」など、いろいろなことを語ってくれました。二人のサッカーに取り組む姿勢の中から、これからの人生に大切なことを教えていただきました。



地域で子どもを

「近所の子どもを叱ったら、その親に怒られてしまった」という話を年配の方から聞きました。私が育った時代には考えられないことです。「子どもは地域で育てる」という慣習が、いつの間にかなくなり、見て見ぬふりをする大人が多くなってきているように感じます。子どもは、いろいろな人との関わりの中で成長していきます。あやまった行動をしている子どもには、大人として正しい言葉かけをすることが大切ではないでしょうか。「心が変われば、態度が変わる。態度が変われば、行動が変わる。行動が・・・」心が変わるような言葉かけをしていきたいものです。また、子どもが叱られても、落ち着いて状況を捉え、何がいけなかったかを受け止めるようにし、共によりよい方向に伸ばしていきましょう。